



いよたん池

校訓

志 和 道
こころざし
わ みち

宮城県岩出山高等学校

〒989-6437

宮城県大崎市岩出山字城山2番地

TEL 0229-72-1110

FAX 0229-72-1353

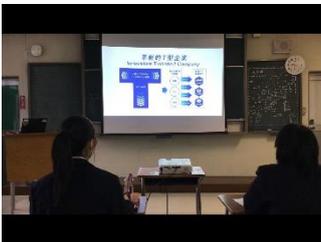
URL: <http://iwadeyama-h.myswan.ed.jp/>

E-MAIL: iwadeyama-h@od.myswan.ed.jp

岩出山高等学校学校便り 令和4年度 第9号 令和5年2月1日発行

<2学年フィールドワーク>

12月22日(木)、2学年の生徒達が「大崎市のSDGsについて」をテーマに、各班がフィールドワークを通して大崎市内でSDGsに取り組んでいる企業を見学し、それぞれの課題について理解を深めてきました。今回協力していただいたのは、有限会社千田清掃、大崎市役所、我妻建設株式会社、みやぎ大崎観光公社、アルプスアルパイン株式会社です。各企業でのSDGsの取り組みの説明を受け、事前に準備していた質問をするなど、一生懸命活動する姿が見られました。また、今回のフィールドワークのまとめとして2月1日(水)校内で発表会が行われます。



(アルプスアルパイン)



(みやぎ大崎観光公社)

<調理研究部・全国高等学校そば打ち選手権大会に向けて猛練習>



調理研究部が、来年の夏に行われる「全国高等学校そば打ち選手権大会」に向けて、日々活動に励んでいます。

調理研究部では昨年11月から、そば打ちの師範の先生をお招きし、月に4回指導を受けていま

す。活動の様子は新聞でも取り上げられ、昨年12月27日には、tbcラジオ「GoGoはみこいラジオな気分」にも生出演しました。



日	曜	2月行事予定
1	水	3年第4回考査 1・2年総探発表会
2	木	3年第4回考査 1・2学年企業出張説明会
3	金	3年第4回考査 大崎市図書館展示活動12:30～
4	土	
5	日	
6	月	3年第4回考査 岩小読み聞かせ⑨
7	火	3年答案返却
8	水	3年答案返却 1・2年先輩に学ぶ会(LHR)
9	木	容儀指導(短B) SC
10	金	3学年会 2年小論文模試 SSW
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	(短A)
14	火	3年出校日
15	水	学校生活アンケート
16	木	第2回学校評議委員会(PM)会議室 PTA役員会18:30～
17	金	SC 数学検定
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	1・2年第4回考査
22	水	1・2年第4回考査
23	木	天皇誕生日
24	金	1・2年第4回考査
25	土	
26	日	
27	月	1・2年第4回考査 魅力化委員会(最終)
28	火	1・2年答案返却(短A) 3年出校日 卒業式予行 同窓会入会式

〈1・2学年 SPI 模擬試験〉

1月25日（水）6校時 LHR の時間に、1・2学年の SPI 模試が行われました。

1月18日（水）には SPI 対策セミナーが行われ、SPI 問題の解き方を学んでおり、どの生徒も一生懸命問題を解いていました。SPI は就職試験にも出題されるので、早い時期から多くの問題を解いて準備しておく必要があります。分からない問題はそのままにせず、先生に聞いて解けるように頑張してほしいと思います。



(1年生)



(2年生)

〈おおさき地域貢献大賞表彰式〉



1月29日（日）、大崎市古川にある吉野作造記念会館で、おおさき地域貢献大賞表彰式が行われました。表彰をされたのは、3年生選択科目「子どもの発達と保育」で実施している、岩出山小学校児童への読み聞かせです。今年度は月に1～2回、岩出山小学校におじゃまして、絵本の読み聞かせや手作りミニ絵本の読み聞かせを行ってきました。その活動が評価され、優秀賞をいただくことができました。代表として参加したのは、3年2組 佐々木優香さんと3年3組 岩崎結斗さんです。賞状を受け取った後、受賞のコメントを3年2組 佐々木優香さんがお話ししました。コメントをご紹介します。

〈受賞のコメント〉

私たち岩出山高校3年生は、「子どもの発達と保育」の授業の活動のひとつとして、岩出山小学校へ行き、絵本の読み聞かせを行ってきました。岩出山高校には様々な絵本があり、子ども達へ読む1冊の本を選ぶことに、とても悩みました。学年ごとにどのような絵本なら喜んでくれるのか、子ども達のことを考えました。そして決めた1冊を一生懸命練習しました。子ども達への読み聞かせは、前日の夜から緊張し、ドキドキがみんなの耳まで聞こえてしまうのではないかと思います。しかし、子ども達は静かに目をキラキラと輝かせながら、私たちの絵本を聞こうとしている姿を見て、深呼吸して、子ども達に楽しんでほしいという気持ちで読みました。また、授業で作った「手作りミニ絵本」も読みました。自分で描いた絵本を読むのはとても恥ずかしかったのですが、子ども達が喜んでくれて、一生懸命作った甲斐がありました。さらに「大型絵本」にも挑戦しました。いつもと違う大きな大きな絵本に子ども達もいつも以上に釘付けでした。私達も普段、大きな絵本を手にするのが少なく、わくわく感が止まりませんでした。また、絵本を通して地域の方とも触れ合うことができました。高校生になっても地域の方と触れ合うことができることは、素晴らしいことだということも感じました。私たちは入学した頃からコロナ禍で、様々な活動が制限されてきました。そのような中で元気いっぱい子ども達や地域の方と絵本の読み聞かせを通して触れ合うことができたことを本当に嬉しく思います。この活動を後輩にも続けていってほしいと思っています。

